

## 『組織内会計士に関するセミナー～「組織内会計士の未来」企業で働くということ～』（平成23年12月13日開催）要旨

<主催者挨拶：日本公認会計士協会専務理事木下俊男>

### 【要旨】

会計士を取り巻く環境は厳しくなっている。例えば、TPPでは農業の問題だけでなく、資格の相互承認が議論されている。

日本だけで通用する会計士ではやっていけなくなろう。国際競争力ある専門性が求められるようになる。

一方、相次ぐ企業不祥事を受け、政府もコーポレートガバナンスの問題に目を向け始めた。社外取締役設置義務、監査役の独立性・専門性強化などの議論においても専門性への要求が高まっている。

今は会計士の専門性が試されるときといえ、専門性を有している会計士にとっては大きなチャンスともいえる

グローバルベースでは、会計士全体に占める企業内会計士の割合は58%といわれているが、日本ではまだ企業内会計士が少ない。

だが、これだけ社会が専門性を求めているからには、今後は企業内会計士も増加するだろう。

このセミナーで、企業で働くとはどういうことなのかということを手伝ってもらいたい。

会計士の活躍分野は監査だけではなくもっと広い範囲に渡っていることを認識のうえ、進路の参考にしてほしい。

### 1. 組織内会計士の現状と日本公認会計士協会の対応

日本公認会計士協会常務理事で組織内会計士対応PT構成員長の佐伯剛氏より、組織内会計士に関するアンケートの説明を通じ、組織内会計士を巡る現状と展望の説明があった。

#### 【要旨】

公認会計士の大量合格と未就職問題、監査法人における人員構成に起因する昇格ポジション不足の問題に鑑み、会計士協会では、「会計の専門家」として公認会計士にどのようなフィールドがあるかの議論を始めている。

まず、組織内会計士の現状を把握すべく、本年2月から3月にかけて「組織(企業)内会計士に関するアンケート」を実施した。

このアンケートは、上場企業、組織内会計士、監査法人に勤務する会計士という3つのグループを対象に行い、組織内会計士に対する各々の認識や会計専門家の労働市場について総合的な視点からクロス分析を実施した。

アンケート結果として、上場企業では社内会計士の需要が顕在化していないということが明らかになった。しかし、本年 10 月 14 日実施の「公認会計士の活用に関するシンポジウム」でのパネルディスカッションでは、「今後の企業のグローバル化により海外連結範囲が広がり、会計専門家は必ず必要になってくる」との意見が大企業 C F O 経験者からもあり、企業内会計士へのニーズは将来的に拡大すると考えている。

## 2 . 組織内会計士の魅力

あずさ監査法人で 5 年間、監査の現場責任者や I F R S アドバイザー等の経験を積み、本年、I T 企業の(株)リアルワールドに転職した井上健氏より自らの転身経験の紹介とその経験から実感した事業会社の魅力についての説明があった。

### 【要旨】

現在は、(株)リアルワールドの経営管理リーダーとして国際展開、新規事業立案、税務、投資、人事など幅広い業務に従事している。

監査法人では会計の知識の専門性を求められるが、事業会社では会計以外の多様な知識が広く求められる。

協会のアンケート結果でもわかるように、事業会社での職務内容の範囲は意外に広い。

会計専門家の会計士が、広範囲の職務に貢献できるのはなぜか。それは、会計がビジネス界の共通のルールであることによっている。会計専門家であるがゆえに、会計士は会計専門家以外が持ち得ない武器 = ツールを持っているからである。

監査をやりたくて会計士になろうと思う人は少ないと思う。しかし、試験に合格して監査法人の中で働いているうちに、会計は会計士のツールであり、監査は会計を使った業務の一部であることを忘れがちである。

将来は会計というツールを使ってベンチャーの支援がしたい。その為にまず事業会社の業務を知りたいと考えた。

事業会社で、会計以外の多様な課題に日々取り組めることに満足している。

## 3 . パネルディスカッション「組織内会計士の未来」～企業で働くということ～

### 【パネリスト】

- ・阿久津 聖 氏 (合格後、株式会社ソニー・コンピューエンタテインメント勤務)
- ・高木 暢子 氏 (監査法人、事業会社を経て、日本電気株式会社勤務)
- ・中川 由紀 氏 (合格後、株式会社クニエ勤務)
- ・山田 昌基 氏 (合格後、住友信託銀行株式会社勤務)

### 【ファシリテーター】

- ・鍔川 陽介 氏 (監査法人、株式会社電通を経て、株式会社アクリアを起業)

年齢、性別、経験の多様な組織内会計士から、それぞれの「経験談や体験談が披露され、意見も交わされた。

最後に参加者の皆様からも多くの質問があった。

今後のキャリアプランを考える若い会計士にとって有意義なパネルディスカッションとなった。

#### 【要旨】

##### Q 1.自己紹介&現在の業務内容は？

試験合格後、直ぐに事業会社に入った方、事業会社で主にM & Aに関わる業務についている方、事業会社での経験後に監査法人に入りそこで会計士試験に合格した方、コンサルティング会社で働く方とバラエティに富むパネリストからの職歴紹介と現在の業務内容や職場環境が紹介された。

##### Q 2.組織内会計士ってどういうこと？

監査法人より差別化が重視される社会であること、プロジェクト単位の仕事ではないため仕事に区切りはあっても継続性があること、など監査法人での仕事内容との相違点について説明があった。

また、会計士であってよかったこととして、ベテラン社員から高度な質問を投げかけられ、夜なべして勉強した上で回答をするなど常に周りから期待されているため自己を成長させることができるとの発言もあった。

##### Q 3.組織内会計士の未来

各パネリストが目指しているキャリアパスについて発表があった。より上位の職位につきマネージャーや経営者として活躍したいとの発言や、出向や海外への赴任を通じより広い範囲で活躍したいとの発言などそれぞれの夢と目標が披露された。

##### Q 4.皆様からの質問

組織内会計士としての仕事と補習所の勉強の両立やグローバル社会への対応のための英語の勉強方法についての質問、実務補習要件に関する質問などたくさんの質問に、パネリストが丁寧に回答した。

以 上

#### 【文責】

組織内会計士対応 PT

東日本組織内会計士 NW 設立準備会

広報 WG

設立世話人 青野奈々子